



クンドルニュース

Kyushu United Nations Depository Library 九州国連寄託図書館

◆◇注目の1冊◆◇

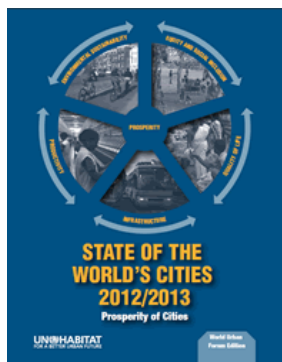
State of the World's Cities (世界都市白書)

<最新版>

State of the World's Cities
2012/2013
UN-HABITAT
Routledge, 2013 204p.
ISBN 9780415838887
国連書架 A2

<インターネット> 英語

<http://www.unhabitat.org/pmss/listItemDetails.aspx?publicationID=3387>



<内容>

・国連人間居住計画(ハビタット)が世界の都市の現状、動向を総合的にまとめたもの。実例の紹介、豊富な図表、写真、統計情報など、一般にも分かり易く書かれている。
・2012/2013年版は、生活の基盤となる‘都市の繁栄’について、経済面だけでなく生活の質、公平な社会、環境の視点と共に考える。

<所蔵>

2001年より6回出版され、所蔵。
(2006/2007年版のみ未所蔵)

■国連と麻薬・薬物

国際薬物乱用・不正取引防止デー =6月26日=

International Day Against Drug Abuse and Illicit Trafficking – 26 June

麻薬や薬物の乱用と不正取引は、地球規模の深刻な問題です。薬物の乱用は、健康を害し、家庭の崩壊、地域社会の悪化を引き起こし、不正取引からの収益は犯罪や暴力の資金となっています。

国連は、薬物問題の中心的機関として麻薬委員会(CND)を1946年に設立し、国際的な薬物統制の政策を決定し、条約の履行状況を監視しています。また、国際麻薬統制委員会(INCB)は、薬物が医療上、学術上の使用以外に不正に流用されないよう生産、流通、消費を監視し、不正取引と乱用を防止しています。

このほか国連は、薬物取引、組織犯罪、国際テロリズムの問題に包括的に取り組む国連薬物犯罪事務所(UNODC)の本部をウィーンに置き、53カ所の現地事務所を持って活動しています。

<関連資料>

- ・Economic and Social Council Official Records, 2012, Supplement No.8: Commission on Narcotic Drugs Report on the fifty-fifth session (13 Dec. 2011 and 12-16 Mar. 2012) UN, 2012
- ・World Drug Report 2011 UNODC, 2011
- ・Manufacture of Narcotic Drugs, Psychotropic Substances and their Precursors 2011 UNODC, 2012
- ・Competent National Authorities under the International Drug Control Treaties 2011 UNODC, 2012
- ・Bulletin on Narcotics Vol. LX, 2008 UN, 2011

<インターネット>

- ・国連サイト(英語) <http://www.unodc.org/unodc/index.html?ref=menutop>
- ・外務省(日本語) <http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/mayaku/>

世界報道自由デー (5月3日)

(World Press Freedom Day – 3 May)

「世界報道自由デー」のロゴマーク

「世界報道自由デー」は2013年で20回目を迎えます。

国連総会は1993年、ユネスコの提唱を受けて、毎年5月3日を表現の自由とジャーナリストの安全を国際社会にアピールするための日「世界報道自由デー」と宣言しました。

2013年は、あらゆるメディアで表現の自由を保障し、発言の安全、ジャーナリストの安全を守ることがテーマです。

2013 theme – Safe to Speak: Securing Freedom of Expression in All Media



World Press
Freedom Day

九州国連寄託図書館 〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号 福岡市総合図書館 2階

TEL 092 (852) 0628 URL <http://toshokan.city.fukuoka.lg.jp>